

編集後記

先日ある我国で行われた国際学会に出席した際にドイツの産婦人科教授と雑談する機会をもった。月並な質問ではあったが日本の印象を訊ねたところ技術水準が非常に高いことはわかるが余りに機能性を追求した結果無駄がなく生活の潤いに乏しいのではないかという旨のコメントをされた。場所が東京周辺なので我国のすべてについていえることではないが、各県が産業誘致、経済の活性化に血道を上げており、首都の移転には多くの県が名乗り出ており、日本全体がドイツの教授が指摘した方向をめざしているように思われてならない。

現在病院経営、企業活動はもちろんのこと教育さえも無駄を省き効率化を優先している。しかし、人間の創造性、意欲、情熱といったものは効率性の追求のみからは湧出せず、無駄や時には不条理の部分も必要となるのではないか。

本年も余すところわずかとなったが来年はもっと“無駄”が消される年となるのか、あるいは我々が快適に生きて行くために必要な無駄が残されるであろうか。

平成8年12月1日

武谷 雄二

編集担当常務理事

藤本征一郎

編集担当理事

荒木 勤, 泉 陸一, 工藤 尚文, 武谷 雄二
仲野 良介, 永田 行博, 薬師寺道明

編集担当幹事

岩下 光利, 奥山 和彦, 木村 英三, 佐川 典正
進 純郎, 塚崎 克己, 野崎 雅裕, 山本 宝

「日本産科婦人科学会雑誌」 第48巻 第12号 (毎月1日発行) 本号定価 ¥1,500 (消費税は含まず)

平成8年11月25日印刷・平成8年12月1日発行

〒162 東京都新宿区市ヶ谷砂土原町1丁目1番地 保健会館別館内

発行所 社団法人 日本産科婦人科学会

電話 (03) 3260-2296 振替口座 00130-2-5568番

編集兼発行人 松 崎 進

印刷者 渡 邊 一 正

印刷所 〒114 東京都北区西ヶ原3丁目46番10号 株式会社 杏林舎

【本誌掲載記事の転載・複製の際は本学会編集会議へお諮り下さい】

1996年12月

N-269~292

日本産科婦人科学会認定医制度 研修コーナー

48巻
12号 '96
日本産科婦人科学会雑誌

CONTENTS

● 今月の研修テーマ

臍帯因子と fetal distress (271)

..... 東京女子医科大学母子総合医療センター教授 岩下 光利

双胎の妊娠・分娩管理 (275)

..... 順天堂大学医学部産婦人科講師 吉田 幸洋

胎児 well-being の評価 (279)

..... 東野産婦人科医長 永田 新

..... 九州大学医学部附属病院周産母子センター助教授 小柳 孝司

遺伝子診断と遺伝子治療の展望 (283)

..... 東北大学医療技術短期大学部看護学科教授 高林 俊文

● EXERCISE 34~37 (287)

● 認定医試験出題問題とそのポイント (291)

1 月の研修テーマ (予告)

● 卵巣悪性腫瘍を疑うポイント

久留米大学医学部

産婦人科教授 薬師寺道明

● 子宮肉腫を疑うポイント

信州大学医学部

産科学婦人科学教授 藤井 信吾

● 乳癌を疑うポイント

福島県立医科大学

第二外科教授 阿部 力哉

● 婦人科癌再発を疑うポイント

癌研究会附属病院

婦人科部長 荷見 勝彦